

長根だより

令和2年9月15日

No. 5

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

生活力を高める

長根小学校長 弓削 善靖

相変わらず、三密を避け、手洗いをすすめ、頻繁に換気をするという新しい生活様式による学校生活が続いています。ストレスがたまり、我慢を強いられる生活を切ない気持ちで送ってられる方も多いことでしょう。

とはいえ、どうすれば新型コロナウイルスに感染しないですむのかという情報は、次第に私たちの知るところとなってきました。また、それが実際に効果のあるものであるという実感がもてるようになって来るにつれ、学校での様々な行事や教育活動も工夫して実施されるようになってきました。

今年の運動会は、参観者の三密を防ぐため、低・中・高学年に分かれ、2時間ずつのスポーツ大会という形に変わりました。全校が共通して取り組む音楽に合わせた準備体操のダンスと徒競走や競争遊技などが、それぞれに行われます。

修学旅行は、京都と奈良の観光業者とバス業者にコロナ対策を徹底的に進めていただく前提で、10月20～21日に実施の予定をしています。このところ第2波が収まりつつある中で、何とかできるのではという希望も見え始めているところです。

1学期に中止となった5年生の野外活動は、10月23日（金）に、「防災デイキャンプ」として、運動場で簡易的な五徳を使って一人一人が火をおこし、お湯を沸かしてフリーズドライのおかずを作ります。ご飯は、瀬戸市から提供していただいたアルファ米を食べる予定になっています。LEDのトーチトワリングをはじめ、お楽しみの企画も準備されているようです。

PTAの行事も、リモートを使って行われる企画が進んでいますし、全校集会の代わりに動画を作って、各教室で見ってもらう方式も確立してきました。

この間の制限の多い生活の中で、学校はもちろん、子どもたちは知恵を使い、新しい取り組みを進めようとするエネルギーが生まれ始めています。ワクチンが流通し、COVID-19が、たくさんある感染症の一つとなったとき、私たちの知恵と生活力は以前よりも間違いなく高まっていることでしょう。



地区社協・PTAによるあいさつ運動のようす

裏面もお読みください

あと20年使える校舎へ

大規模改修 ～令和4年2月まで

先日保護者の皆様には、お手紙でお伝えした通り、長根小学校は、現在待ちに待った大規模改修が行われています。「あと20年は安心して使える校舎を」ということで、教育政策課の施設係で図面を作成し、建設会社と水道工事会社と電気工事会社が入り、工事が始まったところです。工事の終了は令和4年の2月までですが、改修工事の多くは来年度の夏休み中で終わる予定です。

教室と廊下のパーテーションやロッカー、黒板などは新しいものにかわります。窓枠も鉄からアルミにかわります。電気もすべてLEDになります。外トイレも、来年中に洋式トイレに生まれかわります。

美くなった学校を保護者のみなさんはもちろん、地域の方々にも見ていただくのが楽しみです。



大規模改修（雨漏り修理）の様子

今年もねこ丸隊出動です！

今年度、長根小学校ではコミュニティ・スクールとしての新たな取り組みが次々とはじまりました。2学期から始まった「ねこ丸隊」の活動は、昨年度5年生を対象に実施していただいていたものですが、今年度はすべての学年を順に回る形で行われることになりました。協働ボランティアに登録いただいた保護者の方・地域の方々に加え、瀬戸市教育委員会の指導主事さんや市議員さんにも参加していただき、多くの大人たちで子どもたちの学力向上を目指す取り組みを進めていただいています。

活動の様子は、これまで同様、「ねこSAPO通信」にてお知らせしていきます。近く、夏休み中に行われた水無瀬中学校の生徒さんとねこ丸隊による学習支援についての特集号ができあがる予定です。こちらもお楽しみに。



ねこ丸隊による丸付けボランティア